

対面型相談自死予防対策推進事業

(実施期間) 平成21年度～25年度

(基金事業メニュー) 対面型相談支援事業
人材養成事業、普及啓発事業

(実施経費) 平成25年度 315千円

(実施主体) 鳥取県岩美町

(315千円)

【事業の背景・必要性・目的】

経済の変動と社会構造の変化の中で、国を挙げた政策として自死対策が挙げられるようになり、社会全体で取り組むという姿勢の中で、本町においても対策に取り組むことが必要となった。

事業を進めていく経過で、相談窓口を開設していても待つ体制だけでは相談に来られる方は少なく、相談体制の充実を図るためには看護職員が家庭訪問という形で地域に出向いて相談を受けるやり方であれば、抱えている問題が分かってくるのではと考え、対面型健康相談を実施することにした。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

本町の平成12年から23年までの12年間の集計においては、自殺者数は男性が7割で、40歳代に多い傾向にあるが高齢者も全体のうち約3割を占めている。

【事業の経過】

本町では、平成21年度から25年度までの自死対策の方針を計画した。ひきこもり支援から取り組みを始め、うつ病への理解を求めるとの啓発を行い理解したうえで、いつでもどこでも気づき、声をかけあえるよう、ゲートキーパーの役割を担ってもらうための研修会を開催した。平成23年度には、若い世代の方へ、ストレスをキーワードに健康まつりでストレスチェックやカラーセラピーファイルで啓発を行った。平成24年度、25年度には、よりよい効果をあげるためにはリスクの高い方に健康問題に

対する直接相談を受けるのがよいと考え、対面型健康相談を実施した。

【計画方針】 各年度の取り組み	
平成21年度 ひきこもり支援	・ひきこもり訪問事業と月1回保健教室の開催
平成22年度 うつ病への気づき 啓発事業	・うつ病予防講演会 ・地域別快眠研修会 ・懸垂幕でキャンペーン実施 ・こころの相談窓口カード配布
平成23年度 声かけなどの見守り運動 ＜みんなで支え合う地域づくり事業＞ (平成23年度～平成25年度)	・町、東部福祉保健事務所協働事業 ・誰でもゲートキーパー大作戦研修会 ・うつ病認知行動療法DVD貸出 ・健康まつりでストレスチェック ・集落抵乏居啓発 ・成人式、乳幼児健診でカラーセラピーファイルの配布 ・精神保健カウンセラー教室
平成24年度 身近な地域での相談支援	・対面型健康相談 ・太極拳での孤立予防 ・笑顔のコーチングワークショップ ・ゲートキーパー研修会 (美容師・仏教界)
平成25年度 健康問題を抱えている方の把握と相談支援体制の徹底	・対面型健康相談 ・笑い療法研修会 ・睡眠しおり作成

【事業内容】

対面型健康相談の取組み

＜平成24年度＞

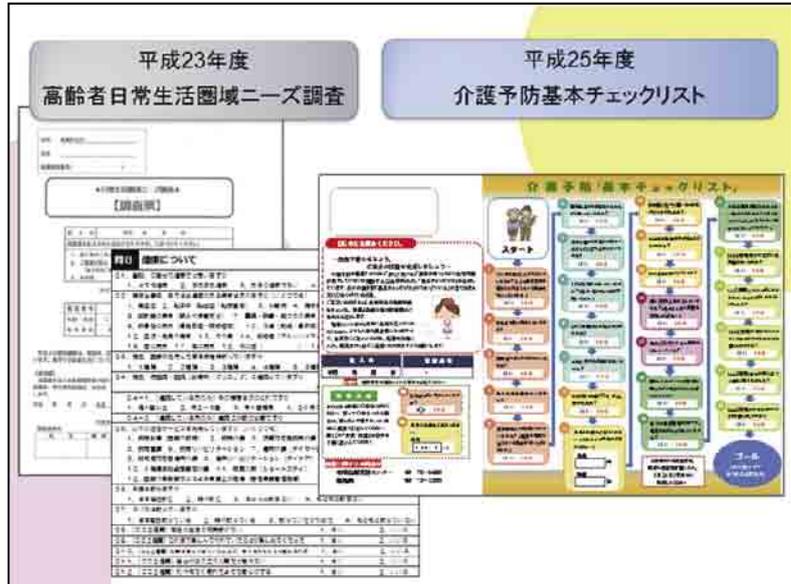
対面型健康相談を実施するにあたり、日中の訪問で面会できる可能性の高い対象者を抽出するため、本町の自殺者のうち3割を占める高齢者に着目し、高齢者を対象とした既存の日常生活圏域ニーズ調査の中でうつ予防該当者となったものを対象者として選び、ふれあいサロンと家庭訪問の場で看護職員が対面型相談を実施した。

<平成24年度の相談例>

- ・転倒し頭部打撲となり、精神的に不安定で閉じこもりがちになっている。
- ・体力の衰えによる不全感、頻尿による不眠があり傾聴を希望。
- ・慢性疾患治療中で疲れやすさの中、上手にストレス解消中。
- ・2年前からうつ病治療中。犬の散歩が癒しとなっている、など。

<平成25年度>

町地域包括支援センターが平成25年4月に行った介護予防基本チェックリストの中からうつ予防該当者を抽出し、看護師・保健師同伴で家庭訪問型健康相談を実施した。



<平成25年度の相談例>

- ・高齢の母の世話をしている、夜1時間毎に起きていて眠れない。
- ・うつ病治療中。眠剤を使用しながら、何も手につかずゴロゴロしている。
- ・肝臓病治療中でイライラ感が強いいため、奥さんに当たり散らしている。
- ・耳の聞こえが悪く会話が成り立ちにくいため昼寝が多く、夜眠れない、など

[基本チェックリストからみた うつ傾向のみられる方]

	合計		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
合計	74	37	37	6	3	4	1	2	7	14	15	6	8	5	3

資料：介護予防基本チェックリストより

[家庭訪問型相談実施数]

	合計		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
合計	66	33	33	4	2	4	1	2	7	13	14	6	7	4	2

対象者：基本チェックリストの回答からうつ傾向が疑われた方

訪問には看護師・保健師がセットになり介護予防基本チェックリスト健康情報をもとに、高齢者家庭訪問をし、特に睡眠状況について具体的な聞き取りを行った。

対象者からの質問には、介護予防教室、介護保険料、在宅酸素医療費、慢性腎炎食事療法、訪問看護制度利用、認知症の判別法などがあり、情報提供する内容は多岐に渡った。

【事業の成果】

対面型健康相談で健康問題を中心に聞き取りを行う中で、複数の病気を抱えていても、自分なりに気持ちの対処をされていることが明らかになった。また、専門職による傾聴を希望する意見もあり、今回の事業では対象者のニーズに沿った形で介入することができたため、うつ傾向の悪化を防ぐ上で効果があったと考えられる。

基本チェックリストという高齢者の意識アンケートの中から関わらせていただき、相談に対するニーズが多くあることを感じ、直接対話の必要性を再認識した。

《主な相談内容内訳》

相談内容	件数
福祉サービス	11
障害・病状の理解	4
医療・保健	21
不安の解消	17
家族・人間関係	2
家計・経済	0
生活技術	8
住まい	0
就労	0
社会参加	1
権利・人権擁護	0
他機関連携	2
その他	0
合計	66

(問合せ先) 鳥取県岩美町役場
健康対策課
TEL: 0857-73-1322
E-mail: ke-kawaguti@town.iwami.gr.jp